

2008年6月23日

各 位

会社名： 株式会社プロトセラ
住所： 東京都中央区八重洲二丁目11番6号
八重洲KNビル8F
代表者名： 代表取締役社長 田中 憲次
電話番号： 03-5201-7733
F A X 番号： 03-5201-7734

**プロトセラ、びまん型全身性強皮症の疾患マーカーのベネシスとの共同研究
に本格着手**

株式会社プロトセラは、本年1月に田辺三菱製薬株式会社の連結子会社である株式会社ベネシス（本社：大阪市）とスタートしたマウス強皮病モデルでのフィージビリティスタディで良好な結果が得られたため、今般、プロトセラが開発したブロットチップ[®]解析技術を用いて、びまん型全身性強皮症の早期発見と治療効果の判定を目指した高感度分子診断法に関連するバイオマーカー探索の共同研究を本格的に開始致します。

びまん型全身性強皮症は、国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIG（intravenous immunoglobulin：静注用免疫グロブリン）の有効性が見出され、海外においても有効性が報告されており、ベネシスでは、献血ヴェノグロブリン-IHの適応拡大に向け、国内において現在フェーズⅢ試験を実施中です。

株式会社プロトセラは、独自に開発したペプチドバイオマーカー*探索技術であるブロットチップ[®]解析技術**を用いて、既に46種類の疾患から2000種類に及ぶバイオマーカー候補を発見、その一部は既に特許申請を終了し、診断・製薬企業と癌・中枢・循環・免疫等の重要疾患領域での体外分子診断システムの共同開発を実施しています。

両社は今回の共同研究で疾患マーカーを発見し、疾患の早期発見と早期治療を目指した個別化医療の実用化を推進してゆきます。

株式会社プロトセラ

- 1 設立年月日 2004年4月1日
- 2 資本金 2億95百万円
- 3 事業内容 ①受託解析事業（広範囲な領域でのバイオマーカーの探索と同定、リガンド&受容体機能解析と同定）、②共同開発事業（分子診断法の開発支援、個別化医療開発支援、新規ペプチド医薬、抗体医薬、受容体医薬の探索&開発）、③ライセンス販売事業（新規分子診断薬法、創薬シーズ）

*ペプチドバイオマーカー：

プロトセラがこれまでに起こった46疾患の解析から、血液中にはタンパク質の分解産物（ペプチド）が無数に存在していることわかり、この分解産物には健康な人と患者さん、疾患の種類、さらに疾患の進行によってその種類と量に決定的な差があることを発見しました。この結果からタンパク質分解産物は疾患のバイオマーカーとして有効であると考えられ、従来のような検出困難な未知のタンパク質を探索、評価する手法よりも、刻一刻と変化する病気の進行に対して、より特異的かつ高精度の診断ができるものと期待されています。

**プロットチップ*解析技術：

大量の試料を高速に解析できる技術として開発されました。従来技術では、プロテオーム解析を妨害する「一群のタンパク質」を血液から除く際に一緒に多くの重要なバイオマーカーを失いましたが、本技術によって、「一群のタンパク質」に吸着したバイオマーカーも大量に発見することが可能になりました。こうして得られたバイオマーカーを用いて、病気の早期発見や治療効果と安全性の判断に役立つ画期的な分子診断技術の確立を目指しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先：

株式会社プロトセラ
代表取締役社長 田中 憲次
TEL:03-5201-7733
FAX:03-5201-7734
MAIL:info@protosera.co.jp
[URL:http://www.protosera.co.jp](http://www.protosera.co.jp)

以上